

R6年度 自己評価結果

アンケート回答者: 事業所職員

アンケート回答数: 5名

特定非営利活動法人 さくら第二

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			職員の配置数は県の条例に基づき、配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			<input type="radio"/>	ミーティングや必要があれば随時検討会を実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年度実施し、業務改善につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			毎年度実施し、ホームページに公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在、外部評価は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			県や市町村主催の研修に参加しています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画(又は、児童発達支援計画)を作成しているか	<input type="radio"/>			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		
	12	【児童発達支援】 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画(又は、児童発達支援計画)に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			支援会議で情報共有し、計画に沿って支援しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明等	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		平日利用時は時間も短く活動内容が固定化してしまっておりますが、長期休暇等の利用時は普段と違ったプログラムを行っています。
	16	【放課後等デイサービス】平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団行動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（又は、児童発達支援計画）を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、ミーティングの時間を設け確認しています。
	19	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		可能な限り実施しているが、送迎等で不在だった職員へは翌日のミーティングで情報共有しています。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌及び、利用者別に記録しています。
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（又は、児童発達支援計画）の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月毎にモニタリングを行い、必要に応じ支援計画の見直しを行っています。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しています。
	24	【放課後等デイサービス】学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用開始前に送迎時間・引き渡し場所等の調整を行っています。また、送迎時に学校での様子を伺っています。
	25	【児童発達支援】母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		市の関係機関等と必要に応じ、連携しています。
	26	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在、医療的ケアが必要なお子様はおりません。
	27	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在、医療的ケアが必要なお子様はおりません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	28	【放課後等デイサービス】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じ、情報共有を行っています。
	29	【児童発達支援】 移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じ、情報共有を行っています。
	30	【放課後等デイサービス】 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じ、情報共有を行っています。
	31	【児童発達支援】 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じ、情報共有を行っています。
	32	児童発達支援センター(他の児童発達支援事業所)や発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じ、児童発達支援センター等から助言や情報提供を受けています。
	33	放課後児童クラブや児童館、保育所、認定こども園、幼稚園等、障害のない子どもと活動する機会や交流があるか			○	
	34	【放課後等デイサービス】 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	35	【児童発達支援】 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	
	36	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳などにより、お子様の状況や課題について情報共有しています。
	37	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	38	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に契約書・重要事項説明書を用いて説明を行っています。
	39	【児童発達支援】 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画に同意を得ているか	○			
	40	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳、電話などにより悩みなど相談に応じています。
	41	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、父母の会・保護者会ともに開催しておりません。
	42	子どもや保護者からの相談や申入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れ、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情受付窓口を設け、契約時に説明をしています。また、苦情があった際には迅速な対応を心掛けています。
	43	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発言しているか		○		月1回のさくら便り、ホームページに活動概要や行事予定を掲載しております。
	44	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	45	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
非常時等の対応	46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしているか			○	
	47	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		各種マニュアルは策定し、職員間で周知しています。保護者様への周知は出来ていない為、今後対応していきます。
	48	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、防災訓練を実施しています。
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認をしているか	○			利用開始前に確認しています。
	50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始前に指示書を提出いただき、それに基づき対応しています。
	51	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった場合は、報告書を作成・保管し職員間で共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設立し内部研修の実施、又、県及び市町村主催の虐待防止研修へ参加しております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(又は、児童発達支援計画)に記載しているか	○			身体的拘束適正化委員会を設立し、適切に対応しております。